

審議会等の会議の開催結果

1 会議の名称	令和元年度加東市学校給食センター第1回運営委員会
2 開催日時	令和元年7月5日（金） 13時00分から14時20分まで
3 開催場所	学校給食センター 2階 会議室
4 議題及び 審議の概要	<p>【議題】</p> <p>(1) 運営委員会の委員長及び副委員長並びに物資調達部会長及び部委員の選出について</p> <p>(2) 施設概要及び給食内容等について</p> <p>(3) 平成30年度決算並びに物資購入状況について</p> <p>(4) 平成30年度学校給食徴収金収納状況について</p> <p>(5) 平成29、30年度給食野菜使用実績について</p> <p>(6) 令和元年度給食予算について</p> <p>(7) 令和元年度事業計画について</p> <p>(8) 主食・牛乳価格等の推移について</p> <p>【会議結果】</p> <p>(1) 委員長・副委員長を選出し、(2)～(8)の資料に基づき審議しました。</p> <p>【質疑応答及びその他】</p> <p>(1) 質疑応答</p> <p>委員：異物混入の問題について、異物の種類、学校や学級またその他の場所等様々なケースがあると思うが、その対応について教えてほしい。毛髪や米の虫が多いと思うが、実際起こったら対応が学校なのか給食センターなのか、ルールがあれば、教えてほしい。</p> <p>事務局：異物混入は避けて通れない問題で、非常に厳しい衛生管理で取り組んでいるが、年間平均10件程度ある。発見場所は学校が一番多く、センター作業中も若干ある。混入の経緯や経過は必ず調査する。異物混入は加工品が最も多く、センター作業中も若干ある。異物の内容は、年間で毛髪は1件か2件で、虫・織</p>

維・ビニール・プラスチックの異物が多い。対策として4月からセンターでは、調理場の作業では頭を完全に覆い目だけが出ている帽子に交換した。危機管理を見据えたマニュアルも、事態に応じて改訂している。学校から連絡があれば、栄養教諭が調査し、その結果をメーカーに依頼して調べてもらった結果の報告書を検証・確認し、学校へ返事をする。

委員：異物混入対策について、学校で子供が給食の異物を見つけたとき、明らかに害虫であれば食べてはダメと言うが、何か不明なとき学校の先生がどう対応するのかは、マニュアルがあるのか。それは各学校で個々の先生の対応なのか。

委員：配膳時に給食当番が異物を発見することが多いが、口に入れる直前に見つけたり、また口に入ってから異物があるという場合もある。全て担任が対応し、給食担当教諭に提出してから、学校の管理職からセンターへ報告する。そのまま食べてしまうことがないように注意している。異物を現況のままナイロン袋に入れセンターに即日持ち帰ってもらい調査をしてもらったあと、写真付きの報告書が届く。

委員：何度か試食をしているが、安くておいしい。10月から消費税も上がり、大変だろう。子供の頃の給食はパンだったので、今日の試食のパンは非常に懐かしく感じ良かった。

委員：給食野菜使用実績を見て、加東市で栽培できてないものがある。近隣の市町で生産しているなら、市を越え北播磨地域の農産物を使用する取り組みもいいと思う。

委員：他市では、月1回、父兄の手作り弁当の日があり、弁当が作れないとコンビニ弁当を持参したこともあった。徐々に作る保護者も増え意識は高まった。食の教育目的として、例えば手作り弁当を通じて保護者に啓発というような取り組みも大切と考える。

委員：給食が食育に果たしている役割は非常に大きい。給食の大きな狙いは、美味しく感謝していただくことにより、子供の心が育つように配慮している。給食委員が給食の前に献立を紹介し、生産者が滝野であれば「滝野産ですよ」、「学校の近くでとれたナスだからしっかり残さずおいしく味わいましょう」と呼び掛けている。またキャラクターを作って残さないよう啓発をしている。食べる分量が子供たちで違うので無理なく残さずに感謝

して食べましょうという取り組みをしている。

委員：3年連続この場で試食しましたが、今日のメニューの中に私が50年間食べられなかった食材があり、その原因は、臭い。ところが今日食べてみて臭いを感じない。繰り返し食材が色々な形で出てくる中で、自然と食べられるようになった。給食のメニューを工夫して提供することで、子供が好きなものでなく苦手なものも口の中に入ることによって家でも食べられるようになり、自然に克服され給食が子供たちを育てていると感じる。

委員：地産地消の推進で、随分加東市産が使われることが多くなったと思う。なぜ地産地消が重要かは、一つは作っている人の顔が見えるのが大切と思う。どこで誰が作っているかという情報を掴むのが難しいが、滝野なすがどの辺りのなすびとか、例えば滝野では「誰々さんのなす」とか顔のつながりが持てるような工夫があればいいなと思う。

事務局：生産者から栽培の苦勞など知る機会として保護者を含め食育活動の一環として交流ができるような計画をしていきたい。

委員：私も小さいときは野菜が大嫌いでしたが、子供には「野菜を食べろ」、それも「慣れるから」とか、「自分のためや」とか言って、なかなか子供には伝わりにくいですが頑張って食べさすように言っている。

委員：息子は中学3年生ですが、ピーマンを全く食べられなかったのが食べられるようになった。また、給食で出たメニューが美味しかったから家でも作ってくれと結構言う。たまに献立表のところに作り方を書いたもので見て作り、役立っている。うちの子も食器を持たずに食べており、左手で器を持ちなさいと注意することが多く、気がつけば食器を置いており、触れるだけでも添えなさいと言うが、できない。三角食べもできない。私は、小さい頃に教えられていたのでそれが習慣づいているが、ご飯の次におみそ汁、次におかずを食べるができない、最後にみそ汁を一度に飲み干すのが親として気になる。保育園ではその指導があるが、小学校や中学校ではないので、小さい頃の癖が原因だと反省している。また、保護者の代表として給食費の滞納がととも申しわけない。現状払えない方もあると思うが、給食を続けていくため、滞納をなくさないといけない。

事務局：貴重なご意見を色々いただき有難うございました。人気メ

	<p>ニューの紹介や給食費の滞納整理について今後も力を入れて対応していきます。</p> <p>(2) その他</p> <p>食育推進専門員から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「食育だより」について ・食育の方針（和食給食・感謝の心と食のマナーなど）について説明を行った。 <p>事務局から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食用牛乳パックの回収について（市の自主回収） ・物資調達部会の開催回数（学期に1度の開催）について説明を行った。 <p>【閉 会】</p> <p>教育振興部長 閉会のことば</p>
5 傍聴者数	1人
6 問合せ先	加東市学校給食センター 電話（0795）42-0074
7 その他	出席及び欠席委員の人数 【出席委員】 9名 【欠席委員】 1名 委員の過半数が出席し、委員会は成立した。